

Tinybopの新アプリ、「これが私」は子供がお話しを語るためのツールです。



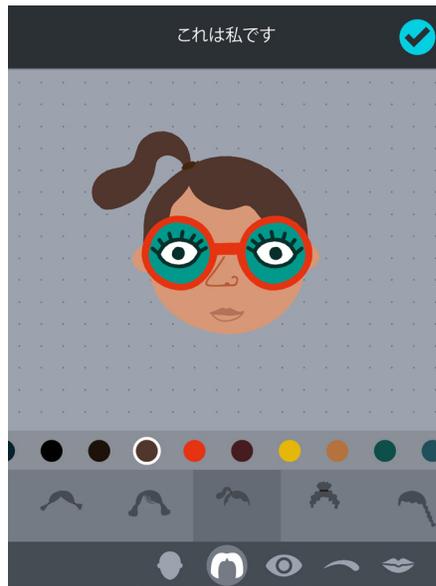
(ニューヨーク、ブルックリン、2016年12月) : 4歳以上の子供用教育アプリをクリエートする受賞歴誇るスタジオ、Tinybop, Inc.は、「Tinybopのこれが私」をApp Storeから発売開始しました。当アプリは子供たちが安心して自分の身元、感情を表現でき、また自分たちを取り巻く世界を自分の言葉で表現できる場所となります。「これが私」はTinybopが子供の社会感情発達を支援するために開発した最初のアプリです。

「これが私」はTinybopのデジタルおもちゃシリーズの第5弾アプリです。シリーズ最初のアプリ、ロボット工場は、iPadアプリ・オブ・ザ・イヤー賞を獲得しました。デジタルおもちゃは子供たちが自由に実験しながら創造できるオープン・エンドのアプリです。「これが私」では、子供たちは自分の家族、友達、家庭に対する気持ちや好みについての何百もの質問に、言葉や画像、色彩、写真、サウンドを使って回答しながら、色鮮やかで動きのある、自分のポートレートを作っていきます。

「Tinybopのこれが私」は、子供たちの社会感情面でのスキル、例えば自覚、社会的認識、そして感情的リタラシーといった、子供の学力だけでなくポジティブに世界に貢献するための能力の開発に役立ちます。子供たちは自分たちの事を理解していればしているほど、他の人にも共感できる、ということが[研究](#)によって示されています。共感や同情という感情は持って生まれたものではなく、学習して得るものです。そして自覚を開拓することが共感や同情を形成する最初のステップです。ミシェル・ボルバが著書、「アンセルフィー：なぜ思いやりの強い子供が自己中心的な今の世の中で成功するのか」で唱えているように、思いやりを教えることで、いじめや虐待、精神健康に関わる流行の病に立ち向かうことができます。

Tinybopの次のアプリは2016年12月にリリースされます。これは初回シリーズ、探検者のライブラリの第8弾で、子供たちは遊びを通して、学校で学ぶ科目、地理、社会、植物学、解剖学における発見ができます。探検者のライブラリの最初のアプリ、「ヒトのからだ～あそんでまなぼう」では143ヶ国においてApp Storeの教育チャートにおいて一位に達し、500万以上の家族によってダウンロードされました。





「Tinybopのこれが私」はApp Storeから世界中でご利用可能です。

TINYBOPについて

当社は喜びを与え、やる気を出させて、教育するデジタルおもちゃを作る、デザイナーであり、エンジニアであり、アーティストでもあります。

Tinybopは2012年に、二人の子供の父親で20年もの芸術とテクノロジー関係の経験を持つ、ラウル・グティエレス氏により創設されました。Tinybopのチームは20名を超え、今も成長を続けています。

Tinybopでは近日、探検者のライブラリシリーズの第7弾目のアプリ、超高層ビルをリリースしました。

詳細については、www.tinybop.com/pressからスクリーンショット、追加のソース、そしてアセットを含むプレスキットをダウンロードして、ご覧ください。

広報担当

電子メール: press@tinybop.com

電話: 516.500.1967

www.tinybop.com

TINYBOP, INC.

540 Atlantic Avenue, 5th Floor
Brooklyn, NY 11217